

まんまるはーと月形町



月形町

年末年始号

旬の新鮮情報



12月のこよみ

23日【天皇誕生日】
31日【年越し】

(大) 師走 (しわす)
すべてのことを「為果す」月です

1月のこよみ

(大) 睦月 (むつき)

むつきあう、つまりくするという意味で、すべてのものが気持ちを寄せ合って新しい年を迎える月です。

- 1日【元旦】年賀・初詣
- 5日【小寒】寒気がだんだん強くなる
- 7日【七草】七草を入れたお粥を食べる
- 11日【鏡開き】お供えした鏡モチを割って食べる
【成人式】
- 20日【大寒】ひどく寒いとき

12月の行事予定

- 11月30日～12月3日
・第3回定期監査
- 11日・農事組合長会議
- 25日・第11回理事会

2010年1月の行事予定

- 6日・役職員新年交礼会

新年のご挨拶

代表理事組合長

柴田 悟



新年明けましておめでとございます。組合員の皆様には、ご家族お揃いで新年を迎えられ心よりお慶び申し上げます。

日頃よりJAの事業運営に対し、御支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、低温、長雨、日照不足と天候不順の影響を受け、農作物全てが減収、品質低下、更には景気、雇用情勢の悪化が消費減少を招き、農畜産物価格の低迷が続く、組合員各位に於かれましては苦勞が報われない残念な一年でありました。

水稲に於いては、全道の作況指数が八十九（南空知八十九）と平成十五年に次ぐ作柄となり、麦に於いても、赤かび病の発生と穂発芽による製品率の低下、

模のモデル事業、水田利活用自給力向上事業が先行実施されることとなり、今までの産地確立交付金、水田等有効活用交付金などが廃止され、転作物への交付金が大幅な減額になる事が予想されます。

また、行政刷新会議では事業仕分けが実施され、これまで地域として取組んできた担い手対策や地域振興作物支援、農地集積事業等に影響を及ぼすことが想定されます。地域農業の実態に即した支援と経営の安定へ万全の仕組みになることを期待するところです。

一方、WTO農業交渉、日米FTA、日豪EPA交渉の行方なども気懸かりなところですが、景気や雇用悪化で農産物価格の上昇が期待できず、交付金等の減額が農業経営を圧迫する事が懸念されます。JAとしての的確な情報提供し、組合員各位の自助努力と併せて役職員が一体

となって負託に応えるよう努力して参ります。組合員ご家族のご健勝と豊穡の出来秋を祈念し、新年の挨拶といたします。



代表理事組合長	柴田 悟
副組合長	山本 博幸
理事	阿部 憲二
理事	中嶋 雅義
理事	平尾 元一
理事	水口 裕行
理事	溝口 智孝
代表 監事	楠 順一
監事	与佐岡 登
員外 監事	宮島 将彰
使用人兼務理事	村瀬 昇
参事	吉田 政明
使用人兼務理事	
金融部長	

新年にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

組合員をはじめJA役職員の皆様方が、希望に満ちた平成二十二年の新春を家族とともに迎えられることを心からお喜び申し上げます。

昨年の北海道農業は、夏の長雨と日照不足などの天候不順により、米の作況指数八十九になる等、総体的に平年作を下回る厳しい結果となり、その被害総額は約六〇〇億円の見込みとなりました。JAグループ北海道といたしましても、関係団体を含めた「平成二十一年度北海道農業団体冷湿害等対策本部」を設置し、北海道など関係団体と連携して、組合員の営農と生活の安定に向けて諸対応を行っているところであります。

さて、わが国の景気は、国内

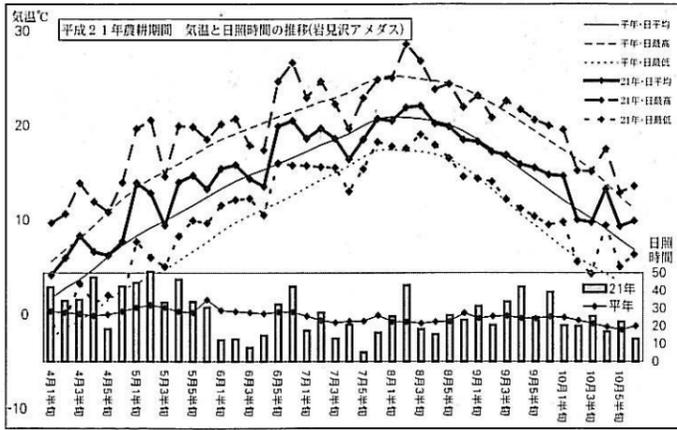
外の政策発動を主因とする効果により春先以降の持ち直しの動きがあるものの、失業率が5%を上回る高い水準にあり、依然として世界の金融危機に端を発する経済混乱の影響を脱しきれない状況にあります。また、北海道農業は農業者の高齢化と担い手の不足など、地域農業の構造変化が続く中で、農地制度改革や食料・農業・農村基本計画の見直し、戸別所得補償制度の導入検討など、農業政策は大転換期を迎えております。さらに、WTO農業交渉やEPA・FTA交渉の決着に向けた動きが模索されており、その決着如何では北海道農業はもとより、関連産業、地域経済にも深刻な影響をおよぼすことが危惧されてお

ります。このため、JAグループ北海道といたしましては、断固阻止の立場から、今後も、全国のJAグループや道内の経済・消費者団体などと連携し、あらゆる対応を図ってまいります。こうした中、昨年開催した第二十六回JA北海道大会では、「協同の力で築く『あすの食をささえる北海道農業』」を主題とし、組合員がJA運動の主人公であることを再確認し、日本の食料基地北海道を自負するJAグループ北海道として、「北海道農業が保有する潜在能力をフル発揮して、農業者が農業生産に意欲的に取り組むことができるための農業所得の拡大に取り組む」とともに、「JAと組合員の強固な結びつきのもと、多様な事業機能の発揮により、組合員・地域住民のみなさまに利用されるJAづくりに向けて取り組むこと」を決議しました。この決議事項は、向こう三カ年におけるJAが取り組むべき指針であり、その実践を通じて北海道農業がさらなるステップア

ップを図り、食料自給率の向上に寄与し、安全・安心な農畜産物の安定供給を通じて、消費者の皆さんが、北海道農業を応援してもらうための取組みであり、また、JA経営においては、経営の健全化と強靱な経営基盤を確立し、組合員の期待に応じられる高度な事業機能を有するJAとなることを目指すものでありますので、全JAでの取組みが求められるものであります。最後に、金融不況による景気の低迷や、WTO農業交渉等の進展が、私ども農業界に与える影響が懸念されますが、全道の組合員の皆さんをはじめ役職員が「一人は万人のために、万人は一人のために」という協同組合の理念をより所にして、JAへの結集を強め、協同運動を強力に展開することにより、この苦境を打開できるものと確信しております。本年は災害がなく豊穡の出来秋を迎えることができますよう心から祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

水稲

平成21年の気象経過と生育状況
1、融雪と耕起状況



昨冬は降雪量が少なく、融雪期は3月20日と平年より18日早くまりました。(普及センター調べ)これに伴い、ほ場はよく乾燥しました。耕起作業は、耕起始は4月23日、5月6日と平年より6日早く始まり、3日早く終わりました。
2、は種作業と育苗
は種作業は4月16日、25日と平年並に経過しました。は種後不安定な天候が続き、曇天により出芽が遅れ、は種、出芽の日数が平年より2日長くなりました。また、一時的な高温・日照により被覆



フォトニュース

J A女性部「酢」について学ぶ
12月7日、月形町交流センターにおいて、Aコープ酢料理講習会を行ないました。酢に関する基本知識や市販の酢とAコープ酢の違いなどを学びました。



生産組合出荷反省会

11月20日に月形野菜生産組合、12月2日に月形花き生産組合の出荷反省会が生産者と関係者を集め行われました。反省会では本年度の出荷状況や販売額などがJA担当者より報告され、次年度に向けた話し合いが行われました。

中の苗で高温障害が見られました。育苗期間は5月3半旬を除き概ね順調に経過し、移植時の苗質は草丈・葉数・第1鞘高は平年並でしたが、分げつが多く、充実度(100本乾物重/草丈)が高くなりました。
3、移植作業と初期生育
移植作業は5月19日、28日となり、平年より1日早く作業が進みました。移植開始から風の強い日が多く、移植期間中に最大瞬間風速が10mを超える日が5日ありましたが、苗質が良く植え傷みはあまり見られませんでした。「活着期」は平年より1日早く、5月29日となりました。6月1、4半旬に日照時間が少なく(平年比38%)、また、3、4半旬では平均気温が低く経過し水稲の生育が鈍りました。
4、幼穂形成期と止葉期
6月の日照不足、低温の影響を受け、幼穂形成期は「きらら397」中苗・成苗平均で7月6日(平年7月5日)と遅れました。冷害危険期の7月3半旬からは低温、日照不足で経過し、生育の遅れが拡大しました。止葉期「きらら397」中苗・成苗平均で7月25日(平年7月21日)となりました。
5、出穂
7月5半旬は低温で経過し、この頃から出穂した生育の早いほ場では出穂進度が遅く、揃いが悪くなりました。8月以降に出穂したほ場では、

表1 「きらら397」の中苗・成苗平均と平年比較(普及センター定点)

	草丈 cm	葉数 枚	茎数 本	第1鞘高 cm	乾物重 g/100本	充実度 乾物重/草丈
平成21年	13.7	4.1	1.8	2.6	4.23	0.309
平年	13.8	4.0	1.5	2.5	3.43	0.249
差	-0.1	0.1	0.3	0.1	0.8	0.06
比率%	99	103	120	104	123	124

【よい食通信】◇平成20年度 食料自給率はカロリーベースで41%◇

8月11日、農水省は、平成20年度の食料自給率が供給熱量(カロリー)ベースで41%になったと公表しました。計算上の「分母」となる国民1人1日当たり供給熱量は2473キロカロリーと前年度比78キロカロリー減少しました。要因として、国際価格の高騰により一部農畜産物(特にチーズと大豆油の原料大豆)の輸入量が減少したことや、消費者のダイエット志向や少子高齢化の影響などが指摘されています。一方、「分子」の国産熱量は米の消費量が減少したものの、さとうきびや大豆の生産量が増加したことから1012キロカロリーと前年度比4キロカロリーの小幅な減少となりました。この結果、前年度の39.8%から40.9%と1.1ポイント上昇したわけですが、上昇は2年連続ですが、数字の残る昭和40年度以降では初めてです。ただ、今回の食料自給率の上昇は「穀物の国際相場高騰や天候などといった外的」な要因による部分が大きく、上昇基調が本格的に定着したわけではない」との指摘も行われています。事実、同日公表された生産額ベースの食料自給率は65%と前年度より低下している状況にあります。カロリーベース、生産額ベースの食料自給率双方を上昇させていくためには、生産基盤確保のための担い手づくりはもちろん、「地産地消」や「ファーマーズ・マーケット」などといった身近な取り組みを積極的にすすめていくことも重要です。これはまさに「よい食」の実践そのもの、その役割発揮に私たちJAグループは大いに期待されています。出典：日本農業新聞(8月12日、同24日) 農林水産省報道発表資料(8月12日)等 (情報先 JA全中)

降に出穂したほ場では、8月2半旬が高温となり、出穂揃までの日数が短くなりました。
6、登熟期間から成熟期
出穂後の気温は9月2半旬まで低く経過し、登熟は鈍りました。9月3半旬以降気温は平年より高めに経過しましたが、8月に入ってから出穂では出穂後40日の平均気温の積算は800℃に達しなかつたため、整粒歩合が低くなつたと考えられます。登熟日数は「きらら397」で51日(平年47日)と平年より日数を要し、成熟期は「きらら397」で9月24日(平年9月17日)となりました。
7、収穫作業と収量・品質
収穫期間は9月26日、10月8日(平年9月17日、10月1日)となり、作業の始まりは遅れましたが、収量が低く、刈り取りの速度が早まりました。収量については、作況指数が「89」(北海道農政事務所：10月15日公表)と低くなりました。収量構成要素については、m穂数(「きらら397」：平年比108%)、m穂数(同113%)は平年より多くなりましたが、7月の低温の影響で稔実歩合9.4ポイント低く、稔実率(同101%)は平年並でした。また「きらら397」の登熟歩合は平年より11ポイント(暫定値)低く、千粒重(同90%)も小さくなりました。(数値は普及センター定点 品質については、早期異常出穂、穂孕み期間及び登熟期間の低温の影響などにより平年より劣りま

した。各ライスセンターで聞き取った21年産米の品質の特徴を整理して下表に掲載しました。

表3 各品種の収量構成要素(普及センター定点)

品 種	年	穂 数 本/m ²	総 穂 数 穂/m ²	稔実歩合 %	登熟歩合 %	千粒重 g
きらら397	21年	676	37,269	81.2	68.2	21.2
	平年	(626)	(33,082)	(90.6)	(79.2)	(23.6)
ななつぼし	21年	596	33,113	84.1	74.5	20.7
	平年	(580)	(32,947)	(91.4)	(75.0)	(22.6)

表4 平成21年産米の品質の特徴(聞き取り結果のまとめ)

区 分	項 目	要因と考えられるもの
外観品質	形の揃い、溝が深い	出穂から40日間で800℃を確保できなかった。
	青米が多い	成熟期までの期間が長い。
	茶米の混入	早期異常出穂(濃茶) 収穫遅れ(薄茶)
	背黒米の混入	3割れ穂の増加
内部品質	斑点米が少ない	8月中旬からカメムシの発生が少なかった。
	タンパク値が高い 平年比+0.5~1.0ポイント	不稔の増加 収量減 出穂前の土壌窒素の吸い残しと出穂後の高温時に残った窒素が一気に吸収された。

平成22年度に向けて「畦の高さ」と「水管理」を見直す
北海道では概ね5年のうち1年は冷害基調の天候になると言われます。平成21年のような雄性不稔を防ぐためには「適正な水管理」が必須となります。
1、畦畔の補修・整備を前歴期間や冷害危険期の低温を乗り越えるために必要な20cmの水深を確保できるよう、畦畔の補修や整備を行います。
2、適正な前歴期間と冷害危険期の水管理を



①前歴期間

幼穂長が0.2～2.5mmの期間（幼穂形成期からおよそ10日間）。この期間に22℃以上の水温を確保することで、稔実は有利になります。この時期に低温に遭遇すると葎の中の花粉の数が減り不稔となります。この期間には10cmの水深が必要となります。

②冷害危険期

幼穂形成期の約10～16日後までの期間、17℃以上の水温を確保したい時期です。（耐冷性や強い品種では15℃以上）。この時期に低温に遭遇すると葎の中の花粉が成長できず、不稔となります。この時期の水深は10cmから徐々に水深を深め最終的には20cmの水深が必要となります。

畑作

平成21年度畑作物の生育概要と次年度に向けて

(1)生育経過

昨年9月のは種作業は、好天によりは種期で平年より3日早く、は種終りで平年より4日早くなりました。越冬前の生育状況は、は種時期の少雨により出芽の遅れやばらつきも見られましたが、10月以降の降雨により主茎葉数六葉を確保することができ、越冬前茎数も1939本/m²と平年の153%で越冬しました。また、根雪始めは平年より25日遅く、融雪期も17日早かったため、根雪期間が短くなり、雪腐病の発生は極軽微にとどまりました。起生期は、融雪が早まったこと

(2)次年度に向けて

近年、立枯病・眼紋病等の土壌病害の発生が増える傾向にあります。田畑輪換も含めた輪作体系や緑肥の導入を検討するとともに、イネ科雑草対策の徹底を実施しましょう。また、春先に低pHによる小麦の黄化症状も見られており、土壌診断により、適正な土壌改良を実施するとともに、透排水の改善も併せて実施し地

よる排水対策に心がけましょう。また、マメシクイガ等による子実食害が見られたので、ほ場観察の上、適期防除に努めましょう。

表3. 大豆作業期と生育期節 (普通大豆)
Table with 5 columns: 播種始, 播種期, 播種終, 出芽期, 開花始, 開花期, 成熟期, 収穫始, 収穫期, 収穫終. Rows for 本年, 平年, 遅速.

4、小豆

(1)生育経過

は種作業は降雨がなく順調に推移し、は種始めは平年並、は種期は2日早くまりましたが、その後の低温、日照不足により出芽期は2日遅れました。その後も7月2半旬からの天候不順により生育は停滞し、開花期は平年より4日遅くなり、開花期以降も七月下旬まで天候不順が続いたものの、着莢数はやや多く、百粒重は平年並となりました。収穫作業は、好天のため収穫始めで平年並と順調でしたが、水稲の収穫作業と競合したため収穫終りで平年より6日遅くなりました。病害虫は、一部ほ場でマメアブラムシの発生がありました。

(2)次年度へ向けて

本年も一部のほ場で茎疫病発生が見られるので、輪作やほ場観察による適期防除、さらには明暗渠やサブソイラー等に

とで平年より8日早まりましたが、起生期以降の少雨の影響で施肥窒素の肥効が緩慢となり、無効分けつもの淘汰は早まりました。その後、5月中旬の低温と出穂期前後の日照不足により、生育が緩慢となり、出穂はややばらつきましたが、起生期が平年より早かったため出穂揃いは平年より3日早くなりました。開花期以降は、6月中旬の低温・日照不足と7月2半旬以降の天候不順により登熟がやや停滞し、成熟期は平年並で推移しました。成熟期以降は、連続的な降雨により収穫作業が遅れ、成熟期前後の低温多雨条件もあつて穂発芽の発生が目立ちました。収量は粗原収量が平年並でしたが、細麦傾向のため製品収量は平年を下回りました。また、蛋白については昨年と同様にやや高めに推移しました。病害虫の発生は、赤さび病がやや多い発生となりました。重要病害の赤かび病は、平年より多い発生となりましたが、適期防除により最小限に抑えることができました。しかし、土壌病害の立枯病と眼紋病の発生が見られ、特に眼紋病は平年より多く、倒伏の発生により収量・品質に影響を及ぼしたほ場が多く見られました。

よる排水対策に心がけましょう。また、一部ほ場でマメアブラムシの発生が見られましたので、ほ場観察の上、適期防除に努めましょう。

表4. 小豆作業期と生育期節
Table with 5 columns: 播種始, 播種期, 播種終, 出芽期, 開花始, 開花期, 成熟期, 収穫始, 収穫期, 収穫終. Rows for 本年, 平年, 遅速.

野菜

1、メロン、すいか、まくわうり

融雪が早く、4月の降水量が少なかつたため、定植初期の土壌水分が不足気味のほ場が多くありました。6月中旬に低温傾向になり、この時期に肥大期を迎えている作型では、やや小玉傾向になりました。また、7月には低温多雨の影響で菌核病の発生が多収量低下につながりました。また、露地作型では、土壌水分が多いことにより精度低下も問題となりました。次年度は、定植ほ場の土壌水分に注意して床づくりを行ってください。また、菌核病の防除農薬の選定（イエス・クリン用）を生産組合で協議する必要があります。

2、注意を要する病害虫

本年問題となった菌核病は、多湿の条件下で発生します。気象予報を参考に次の対策を行ってください。

力の増進を図りましょう。

表1. 秋まき小麦作業期と生育期節
Table with 5 columns: 播種始, 播種期, 播種終, 出芽期, 起生期, 幼穂形成期, 止葉期, 出穂期, 乳熟期, 成熟期, 収穫始, 収穫期, 収穫終. Rows for 本年, 平年, 遅速.

2、春まき小麦（初冬まき栽培）

(1)生育経過

越冬状況は、融雪が早かったことで越冬個体率が高くなりました。その後も順調に生育したため、幼穂形成期は平年より4日早くなりました。5月中旬の低温により生育はやや停滞したものの、出穂期は3日早くなりました。しかし、7月2半旬からの天候不順により生育はやや停滞し、成熟期は平年より2日遅くなりました。また、7月中旬の強風と降雨により一部ほ場で倒伏が見られました。子実の充実については、本年の登熟期間中の天候不順の影響を受けて粒肥大が緩慢となり、細麦傾向で、製品収量も低くな

表2. 春まき小麦作業期と生育期節 (冬まき)

Table with 5 columns: 播種始, 播種期, 播種終, 幼穂形成期, 止葉期, 出穂期, 乳熟期, 成熟期, 収穫始, 収穫期, 収穫終. Rows for 本年, 平年, 遅速.

①長雨の予報の時は、雨前や雨後に防除を行います。②防除農薬は日暮れまでに乾くような時間帯に行ってください。③換気によりハウス内湿度の低下に努めてください。④菌核病を見つけたら、その部位を除去し、ほ場外に出してください。⑤かぼちゃ

トンネル作型では5月15日の霜により凍害の発生がありました。7月の低温多雨の影響により着果期を迎えた果実は落果し肥大期を迎えた果実は小玉の傾向となりました。次年度は、トンネル作型では霜対策として不織布や古ビニールを事前に用意しておき、降霜が予想される場合は保温できる準備が必要です。

4、トマト、ミニトマト

加工用トマトの4月定植作型で、定植初期の霜害の発生が一部でありました。4月定植の作型では、ハウスビニールの一重被覆では霜害の確率が高いため、不織布の被覆などを4月下旬まで行うことが基本です。（不織布被覆をするため、誘引は5月に入ってからする作業体系を厳守する）生食用トマトでは、生育がやや遅れましたが、夏期は低温傾向であったため尻腐果の発生が少なかつたです。しかし、一方で多雨により灰色かび病による果実被害が問題となりました。灰色かび病の防除は、農薬だけに頼らず、換気や過繁茂をさせない施肥管理が重要です。ミニトマトは収穫前半の収量は良好でしたが、後半収量が減少しました（後半小玉）。後半収量を向上させるために

りました。赤かび病は、平年より多い発生となりましたが、適期防除により最小限に抑えることができました。

(2)次年度に向けて

今後も赤かび病防除の徹底と、秋まき小麦同様、輪作や緑肥の導入、低pHの改良と雑草対策の徹底を図りましょう。

3、大豆

(1)生育経過

は種作業はユキホマレの普及により、は種期が平年より3日遅くなりましたが、出芽は順調でした。その後は、ほぼ平年並の生育で推移しましたが、7月2半旬以降の天候不順により開花期は普通大豆で2日遅く、小粒大豆（スズマル）でも3日遅くなりました。開花期以降は、天候不順の影響を受けて軟弱徒長傾向となりましたが、百粒重は平年より軽く、収量は少なくなりました。収穫期は、天候不順の影響で水稲の収穫作業と競合し、平年より5日程度遅くなりました。病害虫の発生は、ツメクサガ等の食葉鱗翅目幼虫、さらにはマメシクイガの発生がやや多く、一部で食害粒が見られました。べと病の発生は見られましたが、防除が適正に行われたため減収となるようなほ場は見られませんでした。

(2)次年度に向けて

本年も一部のほ場で茎疫病発生が見られるので、輪作やほ場観察による適期防除、さらには明暗渠やサブソイラー等に

花き

は、中位花房の摘房や摘果により後半の草勢を維持することが重要です。

1、カーネーション

7月まではやや生育遅れで推移しましたが、8月以降は回復傾向になりました。7月の生育遅れの影響により、定植が遅れた作型では一部切り残しがありました。ハダニの発生は、9月に入ってから発生が多くなりました（例年は8月が多い）一部で品質の低下をまねきました。また、防除効果が不安定な事例も見受けられました。次年度は同一のタニ剤の連用を避けローテーション防除を行うことよって防除効果を安定させる必要があります。

2、ゆり

抑制作型では、低温により上根の生育が良い傾向にありましたが、一方で、日照不足によりブラインドの発生が多くなりました。次年度は、日照量の少ない時は遮光ネットを外したり、遮光率の低いものを被覆するなど、日照量に応じた遮光管理を行う必要があります。

3、注意を要する病害虫

近年、月形町近郊においてアシグロハモグリバエの発生が確認されています。一般的なハモグリバエ類と区別するのは難しいですが、食痕（幼虫が潜った線状の跡）が葉脈に沿っていることが多いのが特徴です。この害虫は、一部の農薬に対して抵抗性があることが特徴で、防除効果の高い農薬の選択が必要です。花き類に限らず、野菜類やビートなどでも被害があり、多犯性害虫です。



WTO・EPA つぼの壺

● 欧州農業団体、インド協同組合中央会との意見交換 ●

平成21年11月15～19日に、JA全中茂木会長、田代副会長らがアイルランド、スイスに出張し、WTOドーハ・ラウンド交渉について、意見交換を行いました。また、17日には、IFA（アイルランド農業者連盟）との間で共同プレスリリースを発表しました。今月号では、こうした取り組みの概要をお伝えいたします



COPA会長との意見交換

JAグループの主張

- 昨年7月末にジュネーブで開かれた閣僚会合は、米国と中国・インドの対立で決裂したが、一方で合意寸前の状況にあったことも事実。
- 重要品目は対象品目の数を極端に制限され、取り扱いも懲罰的である。農業の多面的機能に配慮して、重要品目のモダリティが策定されるべき。
- ドーハ・ラウンドは、食料安全保障、地球温暖化、生物多様性などの問題も含め、世界の食料・農業のあるべき将来像と関連づけた交渉であるべき。



G10農業団体会合の様子

インド協同組合中央会

- わが国のシャルマ農工大臣が以前、「合意に向けて努力する」と発言したことに対し、マスコミや農業者から猛烈な反対。
- アジア諸国の連携がきわめて重要。

EU農業団体連合会 (COPA)

- 多面的機能や食料安全保障に重点をおいた主張をしていく。
- 原点に立ち返って交渉を再スタートさせ、新たな枠組みで貿易ルールを構築するべき。

各国農業団体の主な意見

ノルウェー農業者連盟

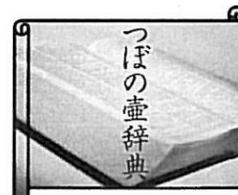
- 早期合意と交渉長期化の両建ての想定で取り組みを準備すべき。
- 交渉は、地球温暖化や食料安全保障など最近の国際的課題と十分関連づけられていない。

スイス農業者連盟

- 我々の共通の主張を出発点に、世界の農業団体の連携に拡大し、ラウンド交渉そのものを変えるべき。議長案の微修正でなく、新たな枠組みが必要。

韓国農業協同組合中央会

- モダリティには、もっと柔軟性が確保されるべき。
- 韓国の農業者にとっては、ドーハ・ラウンドよりも豪州やニュージーランドとのFTAが喫緊の課題。



農業の多面的機能とは？

農業が農産物の生産以外に果たしているさまざまな役割や機能のこと。洪水・土砂崩壊の防止、生物多様性の保全、地域社会の維持活性化、伝統文化の保存など、たくさんあります。

モダリティとは？

ドーハ・ラウンドの各交渉分野における規律について、各国に共通に適用される取り決めを指します。具体的には、関税率を〇年間に△%引き下げるなど、事実上、最終合意内容を方向づけるものとなっています。

IFA (アイルランド農業者連盟) との共同プレスリリース (ポイント)

WTO農業交渉において家族農業者と食料安全保障が守られなければならない

- 現在のWTO農業交渉の方向に明確に反対する立場を継続していくことを約束。
- 国内農業の重要性和家族農業者の保護は、交渉において優先課題とされなければならない。
- 現在のWTOの農業に関するスタンスは、アジアやアフリカにおける真の途上国の小規模農業者を守るようとしておらず、また、消費者が国産の食料を嗜好するというのも無視している。
- これまでWTOルールは多国籍企業のみを利してきた。現行のWTOの政策では、世界の食料生産は減少することになる。(※IFAのウォルシュ会長が、COPAの会長を務めている)

<考える部屋>

貿易依存度が低く、内需成長をするインドやインドネシアは、貿易依存度の高いシンガポールやマレーシアと比較して、昨年の金融危機による影響が明らかに少なくなっています。では、食料自給率が低く、海外の農産物を頼りにしている日本が、深刻な食料危機に遭遇した場合、わが国にはどのような影響が出るのでしょうか。

※全中ホームページ「WTO・EPA関係」内でもご覧になれます。アドレスは<http://www.zenchu-ja.or.jp>

理事会だより

第十回理事会議案

(十一月二十七日開催)

付議第一号 平成二十二年度特別対策組合員の対応方針(案)について

付議第二号 代位弁済履行に伴う北海道農業信用基金協会への外部出資の拠出について

付議第三号 平成二十一年度産地づくり交付金・JA立替払いについて

付議第四号 品目横断的経営安定対策に係る経営安定仮渡金要領の要件設定について

付議第五号 JA農業経営緊急支援資金貸付要領の制定について

協議第一号 ホクレン月形給油所の運営収支改善方策(素案)について

報告第一号 平成二十一年十月末現在組合員の動向について

報告第二号 平成二十一年十月末現在財務状況について

報告第三号 平成二十一年十月末現在事業計画・実績対比について

報告第四号 L Active 9管理要領の制定について

報告第五号 JAバンク基本方針に基づく平成二十一年度上半期経営状況の報告について

報告第六号 平成二十一年度第三回(十一月)志購買品現品棚卸の実施について

報告第七号 平成二十一年産米・大豆の集荷・調整及び検査入庫状況について

報告第八号 平成二十一年度JA月形町役員道内研修旅行収支決算報告について

こんにちは農民連盟 -11月-

- 4日～7日
 - ・書記長・書記次長研修
- 9日・全道書記長・事務担当者農政学習会
- 13日・第5回拡大執行委員会
 - ・税務担当者会議
- 19日・中央行動
- 14日・盟友 瀧本與作氏葬儀
- 27日・中間監査
 - ・常任委員会・役員研修

ホクレン♪スタンド情報♪

- ハイオク **137** 円/L(税込み)
- レギュラー **127** 円/L(税込み)
- 軽油 **112** 円/L(税込み)
- 灯油 **68** 円/L(税込み)

(12月10日現在)

ハイオク・ガソリン・軽油の店頭払いは現金・クミカンの場合2円引きです。



村上美雪 (平成19年4月入組) 業務部農産販売課農産園芸係

退職職員挨拶

この度、12月末付で退職させて頂くことになりました。平成19年4月入組してから2年9か月という短い期間でしたが、皆様には公私ともに大変お世話になり感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

農協文庫 12月号 新刊のお知らせ

今月の農協文庫の新刊をお知らせします。

買取り・貸出しを行っていますので、詳しくは、営農推進課までご連絡下さい。

地球温暖化で日本農業はどう変わる

林 陽生 著

「地球温暖化」は、世界や日本の食料生産にどのような影響を及ぼすのか。温暖化の現状と、今後の状況を見越した農作物の生産方法などの具体的な事例を交え、地球温暖化時代にどのように対応すべきかを詳しく解説。

手間なし保存&使い回しで奥園流超ムダなし!食べきりレシピ

奥園壽子 著

旬の素材をムダなくおいしく食べきるコツを、料理研究家の奥園壽子が伝授。食材選びのポイント、手間ナシ保存方法からそれを使い回したラクラク料理方法までくまなく紹介。料理が楽しくなるアイデアが満載。

好評既刊 劇画 死線を越えて 賀川豊彦がめざした愛と協同の社会

賀川豊彦検校00年記念事業 神戸プロジェクト実行委員会 企画監修

今から100年前に、農協の共済事業や生協の設立、平和運動などに取り組んだ賀川豊彦の活動を劇画で紹介。友愛と協同による社会の実現をめざした賀川の思想の正しさは、現状においても変わりはない。

時間がなくてもすぐできる スープで朝ごはん

福田淳子 著

「スープだね」を作っておけば、好みの具を入れて温めるだけであっという間においしいスープのできあがり。14のスープだねと、それを使った簡単スープ43レシピを紹介。スープで朝ごはんをはじめませんか。

もっとうまくなる家庭菜園教室 野菜づくり 虎の巻

家庭菜園検定委員会 編

定番の野菜38種について、それぞれの原産地や由来、栽培特性などを解説したうえで、栽培のポイントを紹介。家庭菜園をもっと楽しみたい、野菜づくりがもっと上手になりたい人のための家庭菜園書。

好評既刊 15分で作れる 野菜の遅ごはん

ほりえ さちこ 著

遅く帰った時でも、15分でサッとできる野菜をたっぷり使ったヘルシーレシピ。16種の野菜と、ひき肉等の食材9種の計25素材を組み合わせることでとてもシンプル。スープや常備菜も含めて全部で117レシピを紹介。

平成21年を

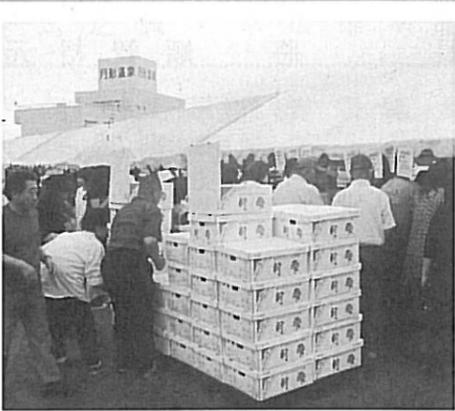
振り返って

8月 ビール祭り大盛況



J A・エーコープ共催のビール祭りを行いました。

7月 つきがた夏まつり



七月二十五日・二十六日の二日間にわたり「第二六回つきがた夏まつり」が催され、農産物即売会等を行いました。

10月 児童会館と稲刈り



毎年J A青年部と交流のある、札幌市の児童との稲刈り体験が行われました。

9月 ハロウィーンかぼちゃ好評



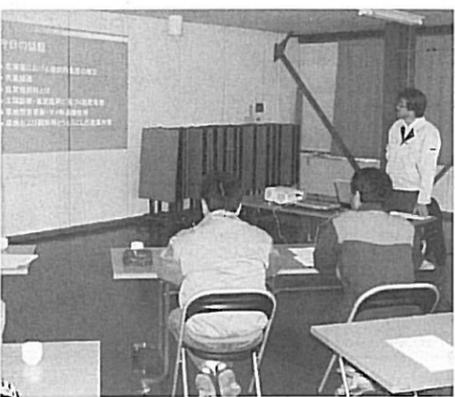
本年より三色（オレンジ・黄・緑）の化粧箱で出荷されています。

12月 干支の交代



丑年お疲れ様でした、寅年よろしくお祈りします。

11月 粗飼料生産など学ぶ



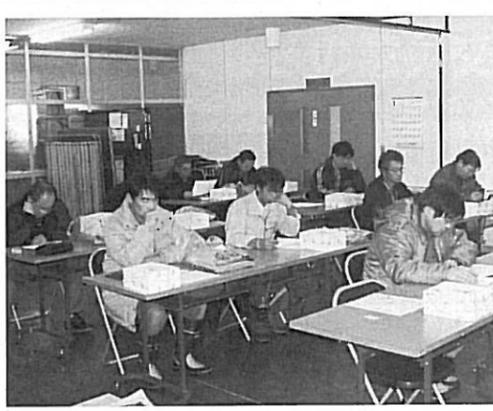
普及センターより講師を招き、北海道における近況と、草地の施肥管理やマメ科の追播などの技術向上研修を行いました。

2月 スノーメッセージ作成



「食」をPRしました。スノーメッセージを作成し、

1月 農事組合長会議



一月十九日、平成二十一年度の農事組合長会議が行われました。

4月 月形町農民連盟総会



農民連盟の定期総会が開催され、原案通り可決されました。

3月 J A第61回通常総会



平成二十年度の通常総会が開催され、提案された議案が原案通り可決されました。

6月 農薬容器回収



年二回行っている農薬容器類の回収を行いました。来年も、回収を行いますので、ご協力お願いします。

5月 小学校へ苗のプレゼント



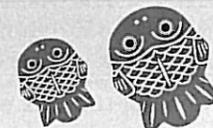
月形小学校、大谷幼稚園へ、J Aよりペットボトルを利用した観察用苗が、学習の為にプレゼントされました。

…J A貯金からのお年玉…

平成22年の新春に、貯金をしませんか？ J Aちょきんでは、1月4日を初貯金キャンペーンとして、入金していただきましたお客様へ、粗品を進呈致します。（数量限定）

どうぞ輝かしい新春をJ Aバンクと共に迎えてみてはいかがでしょうか。みなさまのご来店をお待ち申し上げます。

J A月形町貯金共済課貯金（電話 53-3422）



謹賀新年

本年も役職員一同よろしくお願ひ申し上げます



代表理事組合長

柴田 悟	融資課長	河原 芳一	管理部長(兼)	融資審査係長	農産販売課長	西 和然
山本 博幸	融資係長	小野 智子	西野 宏希	農産園芸係長	農産園芸係長(花き)	竹内 滋
阿部 憲二	融資係(融資)	横山 朋枝	総務課長(兼)	総務係長	真保 佳幸	横道 竜司
中嶋 雅義	融資係(組勘)	坂本 恵	佐藤 隆之	山崎 絵理	山岡 里美	山岡 里美
平尾 元一	貯金共済課長(兼)	貯金共済係長	総務主査	真野 真理子	農産園芸係(農産)	山田 優弥
水口 裕行	貯金共済主査	丸山 富雄	総務係(庶務)	山崎 絵理	米麦係長	青柳 克彦
溝口 智孝	貯金共済係(貯金)	太田 景子	総務係(出納)	今野 芙美子	米麦係	佐藤 英直
楠 順一	貯金共済係(貯金)	吉原 梨絵	融資審査係	村上 雅樹	米麦係長	青柳 克彦
与佐岡 登	貯金共済係(貯金)	戸田 侑斗	業務部長(兼)	資材課長	資材係長	山田 和代
宮島 將彰	貯金共済係(貯金)	橋本 知恵美	業務推進課長	植松 彰	給油所長	伊藤 圭二
村瀬 昇	貯金共済係(貯金)	菅農推進係	菅農推進係長	宮崎 尚幸	給油係	佐藤 武美
金融部長	貯金共済係(貯金)	菅農推進係	菅農推進係長	堀 愉生江	資材係	稲垣 幸一
吉田 政明	貯金共済係(貯金)	菅農推進係	菅農推進係長	資材係	資材係	辻 裕哉

農協青年部

部長	相田 晶仁
副部長	黒宮 弘幸
副部長	石川 照雄
理事	中村 貴広
理事	東出 敏幸
理事	池上 公大
代表監事	石森 誠
監事	一柳 直之
参与	渡邊 訓広

農協女性部

部長	大江 孝子
副部長	中條 明美
代表監事	五十嵐喜代子
監事	青柳 千恵

月形町農民連盟

委員長	石川 純雄
副委員長	津坂 佳史
書記長	田島 豊
書記次長	金山 伸吾
税対委員	常本 勉
税対委員	河原 徹
農政委員	直 浩亨
農政委員	斉藤 武志
代表監事	山田 巖
監事	後藤 英一
監事	青柳 和宏

月形花き生産組合

組合長	中條 敏幸
副組合長	宮下 勇作
書記会計	青柳 俊治
役員	渡邊 訓広
役員	本田 了
役員	鈴木 孝博
役員	山田 花き
監事	青柳 忠信
監事	山崎 敏美

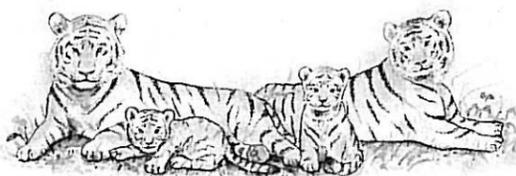
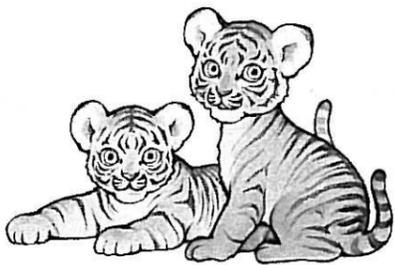
月形蔬菜生産組合

組合長	澤田 瞬一
副組合長	植松 博幸
會計	伊藤 格
監事	小野 栄治
監事	黒宮 勝美
部会長	池上 基
部会長	小林 衡
部会長	米林 信廣
部会長	滝口 伸
部会長	加藤 隆行
部会長	石森 誠

月形町酪農組合

久保 純一
田卷 貴範
斧田 晋

月形町乳牛検定組合



年末・年始業務

	月 日	業 務 内 容	
平成二十一年度(年末)	12月30日(水)	一般業務 貯金店舗 ホクレン給油所	午前8時30分～午後5時15分 窓口 午前9時00分～午後4時00分 ATM 午前8時45分～午後5時30分 午前8時00分～午後6時00分
	12月31日(木)	一般業務・貯金店舗 ホクレン給油所	休業 休業
平成二十二年(年始)	1月1日(金) ～5日(火)	一般業務	休業
	1月1日(金) ～2日(土)	ホクレン給油所	休業
	1月3日(日)	ホクレン給油所	営業 午前8時00分～午後5時00分
	1月4日(月) ～5日(火)	ホクレン給油所	休業
	1月1日(金) ～3日(日)	貯金店舗	休業
	1月4日(月) ～5日(火)	貯金店舗	営業 窓口 午前9時00分～午後3時00分 ATM 午前8時45分～午後5時00分
	1月6日(水)	一般業務 貯金店舗 ホクレン給油所 役職員合同新年交礼会	業務始め 営業 営業 午前8時00分～午後5時00分 午後6時00分

1月7日(木)以降全業務平常営業

エコープ営業時間

平成21年12月

31日(木) 業務納め
午前9時～午後5時

平成22年1月

1日(金) 休業

2日(土) 業務始め
午前10時～午後3時

3日(日)～4日(月) 休業

5日(火) 平常業務
午前9時～午後6時30分

